

研究課題名：	決定木を用いた院内下痢症の発症予測モデルの作成
所属(診療科等)：	公立昭和病院 感染症科
研究責任者(職名)：	小田 智三 (医長)
研究期間：	2018年8月2日～2019年3月31日
研究目的と意義：	<p>院内下痢症は入院患者においてしばしば経験する問題である。</p> <p>院内下痢症のリスク因子の報告は数多く為されているが、発症を予測するモデルに関する報告は無い。また、複数のリスクを持つ患者に於いて、どのリスクが最も重要であるかに関する研究も少ない。</p> <p>本研究の目的は、決定木アルゴリズムによる院内下痢症の発症予測モデルを作成すること、および同モデルにより、複数のリスク因子を持つ際の因子同士の関係を明らかにすることである。</p>
研究内容：	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者さん 2017年4月1日から2018年5月31日に脳梗塞の傷病名で入院した患者 ●利用するカルテ情報 年齢や性別などの基本情報、投与した薬剤、入院中の排泄状況 ●研究方法 上記対象患者のカルテのデータを、後ろ向きに検討を行う。 ●利用する研究機関の範囲 公立昭和病院、東京大学医学部附属病院
問い合わせ先：	<p>【研究担当者】</p> <p>氏名：小田 智三 (感染症科医師)</p> <p>住所：小平市花小金井8丁目1番1号</p> <p>電話：042(461)0052 (代表) FAX：042(464)7912</p> <p>【ご意見・相談窓口】(臨床研究・診療内容に関するものは除く)</p> <p>総務課 042(461)0052 内線2247</p> <p>受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)</p>